

2024年度

東京つくし会評議員会

議案書

日時：2024年6月21日（金）10時～12時
会場：調布市文化会館（たづくり）8階映像シアター

東京都精神保健福祉家族会連合会
（東京つくし会）

◇はじめに

1) 2023年2月15日、滝山病院に勤務する看護師が入院患者への暴行事件で逮捕された。その後、NHKで、2月25日に放送された「ルポ 死亡退院～精神医療・闇の実態～」で、患者の人権を蹂躪する病院の実情と背景が明らかとなり、世間に大きな衝撃を与えた。東京つくし会は、精神疾患を持つ人たちが、安心して入院治療を受けられるように、①声明文を出す、②東京都へ「滝山病院事件に関する緊急要望書」を提出し話し合いをもった。また、「東京都地方精神保健福祉審議会」でも、滝山病院事件の問題を取り上げるよう求めてきた。そして、「滝山病院の虐待防止委員会」の委員として、東京つくし会から副会長の植松を出し、積極的にかかわってきた。また、「滝山病院事件を考える市民と議員の連絡会」に呼びかけ団体として東京つくし会が参加した。

さらに、6月20日、東京都議会議長あてに、「医療機関における精神障害者への虐待をなくし適正な医療へのアクセスを可能とする陳情」を提出。9月13日の都議会厚生委員会では、各会派の代表が質問に立ち、滝山病院事件のようなことを2度と起こしてはならないと述べ、全員一致で趣旨採択された。10月9日の都議会本会議でも全会一致で趣旨採択された。

令和6年度東京都予算には、①精神科病院における虐待の通報窓口の設置、虐待防止研修の実施、②身体合併症（慢性維持透析）に係る医療提供体制の確保事業、③区市町村長の同意による入院者への訪問支援事業が新規に盛り込まれた。

- 2) 東京都福祉局及び保健医療局・教育庁への要望活動や都議会各政党・会派への働きかけには、コロナの関係で人数制限が厳しく、理事だけで行動せざるを得なかった。
- 3) 「東京都精神保健福祉連絡会」(注)の代表として、都知事ヒヤリング（都庁）に会長が参加し、「区市町村障害者就労支援センター事業の機能強化」を訴えた。
- 4) 病院家族会の交流会を昨年度に続き2月17日（土）の午後、開催した。
- 5) 理事による家族会訪問は、コロナが2類から5類へ移行したこともあり、今年度は17家族会で実施することができた。
- 6) 東京つくし会の赤字財政解消のため、事務局員2名体制を1名に削減せざるを得なくなった。

(注) 東京都社会福祉協議会の組織の一部で、構成員は東京都精神保健福祉民間団体協議会（都精民協）と同じ

1. 啓発広報事業

- 1) 都内の精神保健福祉関係者・当事者・家族等の必携書である「道しるべ」の発行にたずさわり、精神障がい者の福祉制度や社会資源などを広報した。
- 2) 会報「つくしだより」を毎月発行し、情報を各家族会と関係機関・賛助会員に伝えた。理事会で会報の編集会議をもち、理事が原稿を分担したり、家族会に原稿依頼をして内容の充実に努めた。
- 3) ホームページを活用し、当会の目的や活動等を紹介し、会報「つくしだより」やイ

ベント紹介、集会案内などタイムリーに情報を伝えた。

- 4) 上半期講演会を評議員会後に開催した。(東京都委託事業)
日時：2023年6月23日(金) 14:00～16:00
会場：北沢タウンホール 集会室
演題：長期入院の精神障がい者の地域移行支援を考える
～病院から出て地域で暮らすために何が必要か～
講師：古屋 龍太氏(日本社会事業大学名誉教授)
- 5) 下半期講演会を開催した。(東京都委託事業)
日時：2024年2月24日(土) 14:00～16:00
形式：オンライン開催
演題：共に生きる社会の実現に向けて
講師：藤井 克徳氏(日本障害者協議会 代表)
- 6) 厚労省の委託事業「ひきこもりホットライン」(3年目)に理事を相談員として派遣した。
- 7) 東京都主催の「障害及び障害者理解研修事業」の講師として理事が協力した。(3回)
- 8) 特別支援教育担当研修会で、精神障害者の実情と教育の場での配慮について理事が話をした。

2. 家族会活性化事業

- 1) 第3回東京の精神科病院家族会交流会を開催。
日時：2024年2月17日(土) 13:30～16:00
会場：東京都戦没者霊園会議室
- 2) ブロック会議の充実に努め、23区と多摩ブロック会議を各2回ずつ実施し、家族会の交流や情報交換、都連への要望・意見交換等に寄与した。
 - ★23区ブロック(会場：東京都戦没者霊園会議室)
 - ① 2023年10月22日(日) 12:45～16:30
 - ② 2024年3月17日(日) 13:30～16:30
 - ★多摩ブロック(会場：府中市片町文化センター)
 - ① 2023年9月30日(土) 13:30～16:00
 - ② 2024年3月9日(土) 13:30～16:00
- 3) 役員・理事の訪問を希望する17家族会への訪問を行った。
- 4) ホームページ、リーフレットを利用して、会員、賛助会員の増加と継続のための努力をした。
- 5) 「都連ニュース」を毎月発行し、各単会会長等に、理事会の報告をした。

3. 精神保健福祉施策推進活動

- 1) 「みんなねっと」と連携した活動
 - a) みんなねっと総会、理事会に参加(会場参加とオンライン)

- b) 「みんなねっと埼玉大会実行委員会」に参加した。
- 2) 東京都への要望活動
- a) 対都議会各会派への要望書提出と懇談（7/25～9/5）
（都民ファースト、自民党、公明党、日本共産党、立憲民主党、東京みらい、生活者ネット、自由を守る会、東京維新）
- b) 今年度は、対都要望交渉は9/11に行った。
要望項目は、①アウトリーチ拡充で精神科医療に繋げる施策を②思春期における精神保健教育と相談体制の充実③人権を尊重した精神科医療の充実④精神障害者にも福祉手当を⑤マル障を2級まで拡大⑥家族会活動への支援の6点に絞った。
- c) 都知事ヒアリング（11/24）都庁第1庁舎
- 3) 東京都が主催する会議に委員として理事が参加し、精神障害者及び家族の切実な福祉施策への要望を訴えた。
- a) 東京都地方精神保健福祉審議会
b) 東京都障害者施策推進協議会
c) 障害者差別解消支援地域協議会
d) 東京都障害者社会参加推進協議会に参加。「ふれあいフェスティバル」にも参加。
e) 東京都障害者技能競技大会（アビリンピック）と運営委員会に参加。
f) 東京都成年後見ネットワーク会議
- 4) 東京都障害者団体連絡協議会に副会長が参加。
・墨田区障団連の講演会に副会長が講師として出席。
- 5) 東京都精神保健福祉民間団体協議会（通称：都精民協）の代表を会長が継続し、役員会に会長が、運営委員会に会長・副会長・会計担当理事が関わった。事務局も引き続き東京つくし会が担う。今年度も、オンライン会議で運営委員会・役員会・要望ワーキンググループを実施。
- 6) 東京都社会福祉協議会の評議員会（会場又はオンライン）に出席。
・障害者福祉サービス運営適正化委員会は、オンライン、現地調査に参加。
・全社協ヒアリングに参加。
- 7) 東京都の障害者相談事業（東京都障害者福祉会館にて。毎月29日）に協力。
- 8) 「公益信託池田輝子記念精神障害者福祉基金」運営委員会(オンライン)に参加。
- 9) 「公益信託障害者愛の福祉基金」運営委員会に参加。
- 10) 足立区精神障がい者施設指定管理者選定審査会に参加。
- 11) 東京都手をつなぐ育成会大会と新年会に参加。
- 12) 東京都民生委員、児童委員、障害者部会研修会の講師として参加。
- 13) 東京家政大学の授業に講師として参加。

4. 相談事業

- 1) 家族相談員養成講座を23区と多摩の2ブロックで1回ずつ開催した。
★多摩ブロック

日時：2023年9月30日（土）10:00～12:00

会場：府中市片町文化センター

講師：西村由紀氏（メンタルケア協議会理事）

★23区ブロック

日時：2023年10月22日（日）10:00～12:00

会場：東京都戦没者霊園会議室

講師：西村由紀氏（メンタルケア協議会理事）

2) 令和5年度家族相談員養成研修 講演会を開催した。

日時：2023年11月10日（金）14:00～16:00

会場：東京都障害者福社会館

演題：精神疾患とのつきあい方～精神科医から家族につたえたいこと～

講師：大下（おおしも）隆司氏（代々木の森診療所院長）

3) 東京都の委託事業による相談事業を通して単会の相談機能を支援した。都連としては、毎週水曜日11時～16時まで、理事による電話相談を行った。

4) 「年金相談」事業は、新システムで2年が経過した。

5) 厚労省の委託事業として開催された「ひきこもりホットライン」相談会に相談員として理事を派遣。

5. 三役会・理事会と事務局の充実

1) 毎月、三役会で理事会の議題を整理し、理事会が円滑に行われるよう努めた。

2) 理事の人数は9名と理事補佐3名となった。理事同士の連帯感を強め、会の活動を理事全員で担う活動スタイルにするため、情報共有を密にした。

3) 現役世代も参加できるように、理事会を土曜日開催にした。

6. 財政問題

つくし会の支出の多くを占めるのが、人件費と事務所家賃である。事務所移転で家賃は低く抑えることができた。しかし、コロナ禍の影響で多くの家族会で会費収入が落ち込み、つくし会の収入が減る現実を考えると、事務局員2名体制を維持することは難しく、2024年1月より事務局員1名体制とした。

7. その他

1) 第15回みんなねっと埼玉大会（10/14～10/15）に都連から参加した。

2) みんなねっと関東ブロック都県連会長会議（注）第16回（8/21）、第17回（2/26）に役員が出席。（東京都障害者福社会館）

（注）「みんなねっと関東ブロック都県連」は茨城、千葉、神奈川、栃木、埼玉、群馬、東京の1都6県の家族会連合会のこと。

第二号議案

2023年度 決算報告書

《一般会計決算》

収入の部

(単位：円)

勘定科目	2023年度予算額A	2023年度決算額B	増△減=B-A	備考
前年度繰越金	1,256,525	1,256,525	0	
団体会費	2,136,000	2,014,500	△ 121,500	
賛助会費	150,000	155,000	5,000	団体・個人
共同募金会配分金	310,000	310,000	0	
寄付金	650,000	895,429	245,429	団体、個人等
雑収入	0	1	1	
利息	0		0	銀行預金利息
合計	4,502,525	4,631,455	128,930	

支出の部

(単位：円)

勘定科目	2023年度予算額A	2023年度決算額B	増△減=B-A	備考
人件費	2,100,000	1,959,276	△ 140,724	事務局職員賃金・交通費
福利厚生費	6,000	6,334	334	労働保険料
役員行動費	60,000	60,000	0	会長活動費
会議費	35,000	36,716	1,716	会場費他
交通費	300,000	237,920	△ 62,080	行動費(理事会・三役会交通費を含む)
通信運搬費	110,000	71,613	△ 38,387	電話料、郵便料、振込手数料
消耗什器備品費	20,000	6,680	△ 13,320	
消耗品費	200,000	170,198	△ 29,802	A4, B5用紙、封筒、文具他
修繕費	5,000	0	△ 5,000	機器修理代
印刷製本費	150,000	105,956	△ 44,044	印刷機使用料、印刷機・プリンタインク
家賃	360,000	360,000	0	事務所家賃
水道光熱費	0	0	0	
負担金支出	140,000	90,000	△ 50,000	東社協・みんなねっと他
渉外費	30,000	17,500	△ 12,500	慶弔費
旅費	100,000	23,600	△ 76,400	2023みんなねっと埼玉大会
つくしだより発行事業費	220,000	201,130	△ 18,870	つくしだより発行費
調査研究費	5,000	0	△ 5,000	
研修費	5,000	0	△ 5,000	図書費他
情報宣伝費	6,000	5,238	△ 762	HP管理料他
予備費	60,000	24,050	△ 35,950	供花
立替金	0	97,615	97,615	都精民協下半期講演会立替
雑費・雑損	50,000	4,466	△ 45,534	
合計	3,962,000	3,478,292	△ 483,708	

総収入	4,502,525	4,631,455	128,930	
総支出	3,962,000	3,478,292	△ 483,708	
次年度繰越金	540,525	1,153,163	612,638	

※負担金支出先：東京都社会福祉協議会、東京都精神障害者連合会、民間相談機関連絡協議会 他

《特別会計決算》

新規事業立ち上げ準備金会計

収入の部

(単位：円)

科 目	2023年度予算額A	2023年度決算額B	増 △ 減 =B-A	備 考
前年度繰越金	10,035,467	10,035,467	0	内訳 { 定期預金 5,009,423 通常貯金 5,026,044
利息収入	25	120	95	
合 計	10,035,492	10,035,587	95	

支出の部

(単位：円)

科 目	2023年度予算額A	2023年度決算額B	増 △ 減 C=B-A	備 考
委託事業会計へ立替	3,571,000	3,571,000	0	
計	3,571,000	3,571,000	0	
次年度繰越金	6,464,492	6,464,587	95	内訳 { 定期預金 5,009,503 通常貯金 1,455,084
合 計	10,035,492	10,035,587	95	

《委託事業会計決算》

1) 精神保健福祉相談事業

収入の部

(単位：円)

勘定科目	2023年度予算額A	2023年度決算額B	増△減=B-A	備考
東京つくし会立替	3,571,000	4,187,000	616,000	
東京都委託事業	0	0	0	道しるべ、講演会 相談事業等
合計	3,571,000	4,187,000	616,000	

支出の部

勘定科目	2023年度予算額A	2023年度決算額B	増△減=B-A	備考
東京都委託事業 (みちしるべ/講演会)	2,085,000	3,581,000	1,496,000	道しるべ、講演会 相談事業等
(連絡調整事業)	20,000	606,000	586,000	都精民協運営費
合計	2,105,000	4,187,000	2,082,000	

2023年度

会計監査報告

監査対象である一般会計、特別会計、委託事業会計の収支について監査を行った。収入、支出関係の諸帳簿及び預金通帳、現金残高を照合したところ適正に処理されたことを認めます。

昨年度引き続き収入関係では登録会員の減少傾向にある。また、賛助会員増加のも少なく、このままの状況が続くと会の運営に支障が出るのが十分考えられるので、理事会においてその対策を検討されたい。人件費については2024年1月より事務局員一人体制に変更したため、抑える努力が認められる。

今後とも会の運営に当たり一層の努力をされたい。

2024年4月26日

監 事

湯山克彦 

告野恵子 

◇はじめに

- 1) 2024年4月11日、精神障害者運賃割引制度を適用していなかったJRグループと大手私鉄が制度導入を発表した。これで、2025年4月には、JRグループと大手私鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）が、揃って精神障害者の運賃割引を導入することになる。これは、私たち精神障害者家族会が「みんなねっと」を中心に長年に及ぶ粘り強い運動により、やっと身体・知的障害者と同じ地点に立てたものである。この成果に確信を持ち、今後は他障害者団体と連携して、100 ㌦以下の同伴条件も廃止しすべての手帳所持者が割引の対象となる制度に改善を求めていく。
- 2) 東京つくし会は、精神障害者とその家族が安心して地域生活ができるように、精神保健・医療・福祉・教育等を充実させるために活動している。また、家族や当事者が孤立しないようにするために、必要な感染対策を取りながら家族会活動を継続するための様々な工夫を交流していくことが求められている。そのために、活動を推進していく東京つくし会の理事を計画的に世代交代できるように、リーダーを育てる取り組みが重要である。
- 3) 「障害者雇用促進法」が改正され、「週所定労働時間が10時間以上20時間未満の精神障害者、重度身体障害者及び重度知的障害者については、特例的な取り扱いとして事業主が雇用した場合に雇用率において0.5と算定できるようにする」という前進があった。また、衆参両院の付帯決議には、「代行ビジネスを利用しないよう企業の指導などを検討すること」を政府に求めている。代行ビジネスは、「柔らかな障害者排除」とも呼ばれ、インクルーシブ社会に逆行するものにとらえ、注視していく必要がある。
 障害者差別解消法に基づき、2024年4月から民間事業者に対しても障害者への合理的配慮の提供が義務化された。精神障害者への合理的配慮が具体的にはどのようなものなのかを啓発していくことが大切である。
- 4) 精神障害のある人だけを対象とし、本人の意思に基づかない入院を許す精神保健福祉法による強制入院制度を廃止することをめざす。当面、強制入院を減らし精神科医療での身体拘束や隔離などの人権侵害をなくすために、
 - ①精神科特例を実質的にも無くし、一般医療と同等の質および水準の医療の提供を求めていく
 - ②精神障害のある人の地域生活が、家族への負担と責任にならないよう、効果的な相談・支援体制を構築する
 - ③教育を通して精神疾患や障害に対する正しい知識・理解を広め、差別・偏見をなくしていく等の要望を実現するために、関係団体・人権団体等と連携する。
- 5) 当事者と家族がそれぞれ自立して安心して地域で生活するために、地域生活を支援する多職種チーム（アウトリーチ）の数を増やし、支援者の研修の充実、身近な窓口で相談でき、必要なサービスに繋がられる体制づくりを求めていく。
- 6) 資産運用などを目的として開設される支援力の無い精神障害者のグループホームが急速に増加し、トラブルや事故が増えている実態がある。2023年度より、グループホーム職員の質の向上のための研修予算が増額され、精神障害者対応の研修も実施されるようになった。グループホームの開設にあたっては、一定の支援の質が維持されるような、東京都独自の基準を定め、職員のよりいっそうの研修の充実を図るよう求めていく。

1. 啓発広報事業

- 1) 都内の精神保健福祉関係者・当事者・家族等の必携書である「道しるべ」の発行に携わる。
- 2) ホームページを活用し、当会の主張や様々な活動・情報を社会に広める。
- 3) 「つくしだより」と「都連ニュース」を使って情報を単会と関係機関に伝える。
- 4) 講演会を開催する。

①上半期講演会（東京都委託事業）

日時：2024年6月21日（金）14:00～16:00

会場：調布市文化会館（たづくり）映像シアター

テーマ：精神障がい者が事件を起こしてしまったら
～被害者への損害賠償は家族が負担？～

講師：奥田真帆氏（弁護士・立川アジール法律事務所）

②下半期講演会（東京都委託事業）

日時：2025年2月22日（土）午後

会場：都庁又は、オンライン

テーマ・講師：未定

- 5) 学習会を実施する。

2. 家族会活性化事業

- 1) ブロック会議の充実に努める。
- 2) 理事の単会訪問を積極的に行う。
- 3) ホームページ、リーフレットを利用して、会員、賛助会員を増やす。
- 4) 家族相談員養成事業を通して各家族会の相談活動の強化を図る。
- 5) 家族研修会を実施する。
- 6) 精神科病院家族会交流会を実施する。

3. 精神保健福祉施策推進活動

- 1) みんなねっとと連携して国の施策に対する意見を述べる。
- 2) 東京都への要望活動は、各単会からの今までの要望をまとめて都に提出していく。都議会各派に働きかけ、請願・陳情などを含む運動をしていく。
- 3) 東京都の会議に参加し、「ふれあいフェスティバル」等の行事に協力する。
- 4) 東京障害フォーラム（JDF 東京）と連携する。
- 5) 東京都精神保健福祉民間団体協議会（通称：都精民協）において会長が代表としての役割を果たし、構成諸団体とともに要望活動等を行う。
- 6) 東京都社会福祉協議会と連携する（評議員会や障害者福祉サービス運営適正化委員会などに出席する）。
- 7) 東京都の障害者相談事業（東京都障害者福祉会館にて。毎月29日）に協力する。
- 8) 日本精神保健福祉政策学会、メンタルケア協議会に協力する。

4. 相談事業

- 1) 家族相談員養成事業を継続して行う。
- 2) 東京都の委託事業による相談事業を通して単会の相談機能を支援する。
- 3) 「年金相談」事業を行う。
- 4) 厚労省主催の「引きこもりホットライン相談会」に引き続き参加する。

5. 三役会・理事会の充実

- 1) 理事の世代継承を図る。
- 2) 理事会を通して、会の活動の質の向上、情報の共有、目的の明確化、連帯感の強化を図る。
- 3) 三役会で、理事会の議案を整理する。

6. 財政問題

- 1) 引き続き賛助会員の拡大を追求し、民間寄付団体にも支援を求める。

東京つくし会 2024年度年間活動計画

※記載されている行事は6月現在、実施が予定されているもののみです。

月	理事会	都 連 等 行 事
4	4/6(土)	
5	5/4(土)	
6	6/1(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなねっと総会 <6月7日(金)> ・評議員会・上半期講演会 <21日(金)> ・対都要望書提出<6月下旬>
7	7/6(土)	
8	8/3(土)	
9	9/7(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩ブロック相談員養成講座・交流会
10	10/5(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・23区ブロック相談員養成講座・交流会 ・2024みんなねっと北海道大会<10/12>
11	11/2(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・関東ブロック神奈川大会<11/14(木)>
12	12/7(土)	
2025年 1	1/4(土)	
2	2/1(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院家族会交流会 ・都民講演会
3	3/1(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩ブロック交流会 ・23区ブロック交流会

第四号議案

2024年度 予算

《一般会計予算》

収入の部

(単位：円)

勘定科目	2024年度予算額 A	2023年度予算額 B	増 △ 減 =A-B	2023年度決算額	備考
前年度繰越金	1,153,163	1,256,525	△ 103,362	1,256,525	
団体会費	1,992,000	2,136,000	△ 144,000	2,014,500	
賛助会費	150,000	150,000	0	155,000	
共同募金会配分金	440,000	310,000	130,000	310,000	
寄付金	350,000	650,000	△ 300,000	895,429	団体、個人等
立替金	97,615	0	97,615	0	都精民協下半期講演会立替返金
雑収入	0	0	0	0	
利息	0	0	0	1	銀行預金利息
合計	4,182,778	4,502,525	△ 319,747	4,631,455	

支出の部

(単位：円)

勘定科目	2024年度予算額 A	2023年度予算額 B	増△減=A-B	2023年度決算額	備考
人件費	1,050,000	2,100,000	△ 1,050,000	1,959,276	事務局員賃金・交通費
福利厚生費	4,000	6,000	△ 2,000	6,334	労働保険料
役員行動費	60,000	60,000	0	60,000	会長活動費
会議費	40,000	35,000	5,000	36,716	理事会・評議員会会場費他
交通費	300,000	300,000	0	237,920	行動費(理事会・三役会交通費を含む)
通信運搬費	130,000	110,000	20,000	71,613	郵便代、振込手数料他
消耗什器備品費	20,000	20,000	0	6,680	
消耗品費	200,000	200,000	0	170,198	A4, B5用紙、封筒、文具 他
修繕費	5,000	5,000	0	0	機器修理代
印刷製本費	330,000	150,000	180,000	105,956	印刷・紙折り機使用料、印刷機・プリンター代、コピー代
家賃	380,000	360,000	20,000	360,000	事務所家賃、火災保険
負担金支出	100,000	140,000	△ 40,000	90,000	みんなねっと、東社協他
渉外費	30,000	30,000	0	17,500	慶弔費
旅費	130,000	100,000	30,000	23,600	2024年北海道大会予定
つくしだより発行事業費	230,000	220,000	10,000	201,130	つくしだより発行費
調査研究費	5,000	5,000	0	0	
研修費	5,000	5,000	0	0	図書費 他
情報宣伝費	6,000	6,000	0	5,238	HP管理料 他
予備費	30,000	60,000	△ 30,000	24,050	名刺印刷代 他
立替金	100,000	0	100,000	97,615	都精民協下半期講演会立替
雑費・雑損	10,000	50,000	△ 40,000	4,466	
支出額計	3,165,000	3,962,000	△ 797,000	3,478,292	
収支差額	1,017,778	540,525	540,525		
次期繰越収支差額	1,017,778	540,525	540,525		
合計	4,182,778	4,502,525	△ 256,475		

《特別会計予算》

新規事業立ち上げ準備金会計

収入の部

(単位：円)

科 目	2024年度予算額A	2023年度予算額B	増 △ 減 =A-B	2023年度決算額	備 考
前年度繰越金	6,464,587	10,035,467	△ 3,570,880	10,035,467	内訳 { 定期預金 5,009,503 通常貯金 1,455,084
委託事業会計へ立替返金	4,187,000	0	3,571,000	0	
利息収入	7	25	△ 18	120	
合 計	10,651,594	10,035,492	102	10,035,587	

支出の部

(単位：円)

科 目	2024年度予算額A	2023年度予算額B	増 △ 減 =A-B	2023年度決算額	備 考
委託事業会計へ立替	4,187,000	3,571,000	0	3,571,000	
計	4,187,000	3,571,000	0	3,571,000	
次年度繰越金	6,464,594	6,464,492	102	6,464,587	内訳 { 定期預金 5,009,503 通常貯金 1,455,091
合 計	10,651,594	10,035,492	102	10,035,587	

《委託事業会計予算》

1) 精神保健福祉相談事業

収入の部

(単位：円)

勘定科目	2024年度予算額A	2023年度予算額B	増△減=A-B	2023年度決算額	備考
東京つくし会立替	0	3,571,000	△3,571,000	4,187,000	道しるべ、講演会 相談事業等
東京都委託事業	4,187,000	0	△3,571,000	0	
合計	4,187,000	3,571,000	616,000	4,187,000	

※東京都委託事業から23年度の精算に対しての入金予定

支出の部

勘定科目	2024年度予算額A	2023年度予算額B	増△減=A-B	2023年度決算額	備考
東京都委託事業 (みちしるべ/講演会)	3,581,000	2,085,000	1,496,000	3,581,000	道しるべ、講演会 相談事業等
(連絡調整事業)	606,000	20,000	586,000	606,000	都精民協運営費
合計	4,187,000	2,105,000	2,082,000	4,187,000	

第五号議案

2024年度 東京つくし会役員名簿

(理事候補五十音順)

氏 名	所 属 団 体 名
(理事)	
安 藤 万 寿 代	狛江さつき会
植 松 和 光	シュロの会 (国立市)
江 頭 由 香	かささぎ会 (調布市)
大 山 竹 彦	新宿フレンズ
轡 田 英 夫	NPO法人練馬すずしろ会
寺 澤 元 一	NPO法人世田谷さくら会
中 住 孝 典	青梅ほっと・スマイル
本 田 道 子	渋谷太陽の会
眞 壁 博 美	立川麦の会
(理事補佐)	
池 田 正	アットホーム・歩歩 (ぽぽ) (昭島市)
小 澤 輝 江	府中梅の木会
前 山 栄 江	文京区家族会
(監事)	
告 野 恵 子	NPO法人世田谷さくら会
鳥 山 克 宏	府中梅の木会
(相談役)	
羽 藤 邦 利	代々木の森診療所理事長
野 村 忠 良	府中梅の木会
(事務局)	
西 谷 英 理	〒182-0024 調布市布田1-26-12 ダイアパレス調布220 TEL/FAX 042-453-7534